

「(歴史)ヨーロッパ人との出会いと全国統一」日比崎ふしぎ発見 天下統一の理を説け ～なぜポルトガル人は日本に鉄砲やキリスト教を伝えたのか？それによって、日本はどのような影響を受けたのだろうか？～

本単元で育成する資質・能力

(教科) 情報活用能力 (学校) 表現力, コミュニケーション能力

- 1 日時 平成30年11月16日 13:30～14:20
- 2 学年 第2学年2組 (男子18名 女子18名 合計36名)
- 3 場所 新館3F 2年2組教室
- 4 単元について

○ 本単元は、中学校学習指導要領 歴史的分野(4) 近世の日本(ア)「戦国の動乱、ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを通して、近世社会の基礎がつくられていったことを理解させる。」を受けて設定されている。この単元は、日本の歴史において、新航路の開拓、宗教改革、鉄砲やキリスト教の伝来、南蛮貿易、検地・刀狩、朝鮮への出兵といったキーワードを通して、世界の一体化の動きの中で、戦国大名が各地に割拠した時期から、統一政権が誕生して近世社会の基礎が形成される過程を理解させる構成となっている。

○ 本学級の生徒は、男子18名、女子18名の学級である。授業中でのペア活動や班での活動は意欲的に参加することができる。以下の表は、7月に実施した授業アンケートの結果である。

		あてはまる			あてはまらない		
		よく	やや	計	あまり	まったく	計
課題設定	授業では、解決しようとする課題について、「たぶんこうではないか」、「こうすればできるのではないか」と予想しています。	36.1%	52.8%	88.9%	11.1%	0.0%	11.1%
情報の収集	授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしていますか。	5.6%	66.7%	72.2%	25.0%	2.8%	27.8%
	授業では、課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	19.4%	63.9%	83.3%	16.7%	0.0%	16.7%
その他	授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	50.0%	44.4%	94.4%	2.8%	2.8%	5.6%

この結果から、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりすることは得意な活動である。課題としては、授業で課題を解決するために、進んで資料を集め情報を収集することが苦手である。そのため、得意な班活動を通じて、資料を読み取って班員と考察し、それをまとめて表現することで、課題解決につなげていきたいと考えている。

○ 指導に当たっては、導入部において、クイズ形式を用いて小学校での既習事項を生かしたやり取りを進めながら、生徒が自分たちは歴史を知っているようで実は知らないということに気付かせ、「なぜ鉄砲とキリスト教が伝わったのか？それによって、日本はどのような影響を受けたのだろうか？」という、単元を貫く問いを設定する。

展開部では、「なぜポルトガル人は日本に鉄砲やキリスト教を伝えたのか？」という問いに対して、複数の資料を読み取り、情報を集め考察する場面を設ける。少人数班で、読み取った情報を根拠に、学習課題に対する仮説を立てさせる。また、立てた仮説の重要ポイントをキーワード化させる。このことにより情報活用能力の育成を図る。

最終的には、学習課題に対する仮説(生徒なりの予想)を、複数の資料を関連付けながら、根拠を明確にして述べることで、本校が目指している「コミュニケーション能力」「表現力」の育成を図る。出されたキーワードのグルーピング、ラベリングを行い、生徒の仮説の価値付けを行い、今後の単元の学習に対する見通しを持たせる。また、2年生の歴史学習の導入にあたり、日本の歴史が世界の歴史との関わりなしに語ることはできないということに気付かせたい。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科、領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本題材においても、「解決したい」或いは「達成したい」学習課題を設定し、学習班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

	資質・能力	レベル1	レベル2	レベル3
知識・スキル	表現力・コミュニケーション能力	授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）		
		（話す） 自分の考えや意見を、自分のことばで、表現することができる。	わかりやすく（伝える） 自分の考えや意見を、わかりやすくまとめ、自分のことばで、表現することができる。	（説得する） 自分の考えや意見を、わかりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で、表現することができる。
		（聞く） 相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、聞いている。	（聴く） 話の組み立て構造を考えながら、相手の意図や要点を整理しながら、聴くことができる。	（訊く） 相手の考えについて根拠の信頼性を判断しながら、訊くことができる。話された内容と自分の意見をふまえて疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。
	聞いて質問することができる。 （やりとり1回）	さらに深めた質問ができる。 （やりとり2回）	質問の後に自分の意見を述べ、内容を深めることができる。 （やりとり3回以上）	
意欲・態度	主体性	課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。	課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで、取り組もうとしている。	自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで、取り組もうとしている。

6 単元目標

○ 戦国の動乱、ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを通して、近世社会の基礎がつけられていったことを理解させる。

7 評価規準

社会事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的な事象についての知識・理解
15, 16世紀の世界の動きや近世社会の基礎など、近世の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、近世の特色を捉えようとするとともに、近世の文化遺産を尊重しようとしている。	戦国の動乱、ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	戦国の動乱、ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、それを基に図表などにまとめたりしている。	近世社会の基礎がつけられていったことを理解し、その知識を身に付けている。

8 指導計画（全9時間）

過程	次	学習内容（時数）	観 点				評 価	
			関 意 態	思 判 表	技	知 理	評価規準	資質・能力 （評価方法）
プロローグ（単元を貫く問い）								
なぜポルトガル人は日本に鉄砲やキリスト教を伝えたのか？それによって、日本はどのような影響を受けたのだろうか？								
課題 の 設 定	1	日比崎世界ふしぎ 発見！～なぜポ ルトガル人は日本 に鉄砲やキリスト 教を伝えたのか？ 本時（1／1）		◎			◎自分たちの仮説について、根拠を 明確にしながら、複数の資料を関 連付けて述べるができる。 ○鉄砲やキリスト教の伝来など に関する複数の資料を読み取り、仮 説を立てるために必要な情報を 集めることができる。	【情報活用能力】 （ワークシート） 【表現力】 【コミュニケーション能力】 （グループ活 動・発表）
情報 収 集 ・ 整 理 ・ 分 析	2	キリスト教世界と ルネサンス （1時間）		◎			◎イスラム世界と接したキリスト 教世界の変化を、文化や宗教の観 点から説明できる。	【表現力】 （ワークシート）
	3	ヨーロッパと外の 世界 （1時間）			◎		◎ヨーロッパの世界進出の影響を、 資料をもとにまとめられる。	【情報活用能力】 （ワークシート）
	4	ヨーロッパ人との 出会い （1時間）				◎	◎ヨーロッパ人の来航が日本にど のような影響を与えたか理解し ている。	【情報活用能力】 （ワークシート）
	5	織田信長による統 一事業 （1時間）			◎		◎織田信長の政治を、政策の種類ご とに整理し、その特徴をまとめら れる。	【情報活用能力】 （ワークシート）
	6	豊臣秀吉による統 一事業（1）（2） （2時間）		◎			◎検地や刀狩などの豊臣秀吉の政 治によって、社会がどのように変 化したか説明できる。	【情報活用能力】 （ワークシート）
	7	桃山文化 （1時間）	◎				◎政治の変化が、文化にどのような 影響を与えているか関心を持つ ことができる。	【情報活用能力】 （ワークシート）
まとめ・創造・表現・ 実行・振り返り	8	日比崎世界ふしぎ 発見！～単元を貫 く問いの解決～ （1時間）		◎			◎単元を貫く問いに対して、根拠を 明確にしながら、自分なりの意見 をまとめ、表現することができる。	【情報活用能力】 【表現力】 【コミュニケーション能力】 （グループ活 動・発表）
エピローグ（単元を貫く問いの解決）								
新航路の開拓や宗教改革などによって鉄砲やキリスト教が日本に伝来した。これらを有効に活用した織田信長や豊臣秀吉により天下統一が進められ、最終的には徳川家康による統一政権が誕生するという近世社会の基礎が形成されることとなった。世界が一体化し、日本の歴史も、世界との関わりの中で捉えることができるようになった。								

単元を
貫く問い

9 本時の展開

(1) 本時の目標

○鉄砲とキリスト教がポルトガル人によって日本にもたらされた理由を、資料をもとに仮説を立てて説明することができる。

(2) 本時の評価規準

- ・自分たちの仮説について、根拠を明確にしながら、複数の資料を関連付けて述べることができる。(思考・判断・表現力)
- ・鉄砲やキリスト教の伝来などに関する複数の資料を読み取り、仮説を立てるために必要な情報を集めることができる。(技能)

(3) 準備物

- ・教科書, PC, TV, ワークシート, ミニホワイトボード×9

(4) 学習の流れ (1時間目/全9時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力(評価方法)
1 学習事項を確認する。[10分]		
単元を貫く問いを設定する。	◇「なぜ鉄砲とキリスト教がポルトガル人によって伝わったのか？それによって、日本はどのような影響を受けたのだろうか？」という問いを立てる。 ◆パワーポイントを活用し、クイズ形式を用いて小学校での既習事項を生かしたやり取りを進める。	
2 ねらいを確認する。[1分]		
本時のねらいを確認する。		
ねらい：鉄砲やキリスト教の伝来した理由が説明できる。		
3 本時の課題を設定する。[2分]		
本時の学習課題を設定する。		
学習課題：日比崎世界ふしぎ発見！なぜポルトガル人は日本に鉄砲やキリスト教を伝えたのか？～複数の資料をもとに、グループで仮説を立てよう。～		
4 情報を整理・分析し、課題解決をする。[20分]		
資料に何が書いてあるか読み取り、仮説を立てるために必要な情報を集め、仮説考える。(個人)	◇資料を活用することで、意見に根拠を持たせる。 ◆生徒が資料の意味を理解していないものについては、随時解説を加える。	・鉄砲やキリスト教の伝来などに関する複数の資料を読み取り、仮説を立てるために必要な情報を集めることができる。〔資料活用の技能〕 【行動観察・ワークシート】 ★情報活用能力 【ワークシート】
資料から読み取ったことをもとに、各班で課題解決のための仮説を立てる。(グループ活動)	◇ホワイトボードに意見をまとめさせていく。表面に仮説を、裏面に鉄砲やキリスト教が伝来した理由に関わるキーワードを書かせる。 ◆他人と意見交流をすることで、自分の考えと比較し、理解を深めさせる。	

導入の工夫

グループワークの活用



5 課題解決について発表をする。[10分]		
仮説をまとめてミニホワイトボードで発表する。(グループ活動)	◇発表の仕方、聞く姿勢について確認しながら進める。 ◆他者と意見交流をすることで、自分の考えと比較し、理解を深めさせる。	・自分たちの仮説について、根拠を明確にしながら、複数の資料を関連づけて述べるができる。(思考・判断・表現力) [社会的な思考・判断・表現] 【行動観察・発表】 ★表現力、コミュニケーション能力 【発表】
<p>A 貿易面と宗教面の両方に着目して、仮説を立てている。</p> <p>B 貿易面、宗教面、どちらかに着目して、仮説を立てている。</p>		
6 学習のまとめをする(「思考を深める学び合い」に向けて)。[5分]		
教師の話聞き、考えを深める。	○出された意見をグルーピングとラベリングをする。 ○ポルトガル人が日本に鉄砲やキリスト教を伝えたのは、貿易面と宗教面では「どちらがより大きい要因となるか」問いかける。また、これ以外の要因はあるか考えさせる。	
7 本時を振り返り、次時につなげる。[3分]		
○振り返りを書く。	◇本時の学習課題にそった振り返りを行うように促す。 ◇本時を振り返り、発表(予想)されたことを、さらに単元を通して追究していくことに触れ、次時につなげる。	
<p>生徒の振り返り</p> <p>・ポルトガル人が日本に鉄砲やキリスト教を伝えた理由について資料から仮説を立てることができた。実際の歴史は、どのようなだったか知りたい。また、日本の歴史にも世界の歴史が関わってくるのだなと思った。</p>		

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	記述語
A（理想的）	複数の資料をもとに，貿易面・宗教面の両方に着目して，仮説を立てている。
B（合格）	資料をもとに，貿易面・宗教面のどちらかに着目して，仮説を立てている。
C（乗り越えさせたい実態）	資料の読み取りができず，仮説を立てられていない。

（5）板書計画

単元：ヨーロッパ人との出会いと全国統一

ねらい：鉄砲やキリスト教の伝来した理由が説明できる。

学習課題：日比崎世界ふしぎ発見！なぜポルトガル人は日本に鉄砲やキリスト教を伝えたのか？
～複数の資料をもとに，グループで仮説を立てよう。～

G

E

C

A

I

H

F

D

B